

令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	神崎市立 神崎中学校 児童数 517 人	担当者名	(司書補) 米倉 聡子
住所	郵便番号 842-0007 神崎市神崎町鶴 3565	電話番号	(0952) 52-3175

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためだけに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	図書館は情報館！ ～図書館をもっと活用しよう～
	取組期間	令和3年 4月 12日 ～ 令和3年 11月 30日

※令和3年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和3年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	547 人	実施日数	122 日	読書冊数	14,654 冊	連携した団体数	2 団体
	取組内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> ◆図書館利用の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・全クラスへのオリエンテーションと、図書館の使い方のパンフレットの活用。 ◆新聞の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞コーナーに2紙と子ども佐賀新聞を閲覧台に載せている。 (職員室から頂くので3日遅れのもの) ・自校の生徒が掲載されている記事の切り抜きを掲示。 ◆イベントなどの展示 <ul style="list-style-type: none"> ・各行事の紹介展示。 ◆図書館だよりでの情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、様々な図書館でのイベントや情報を提供。 ◆読み聞かせボランティアとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・週に1度1学年に入って読み聞かせをして頂いている。 ◆授業での活用 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の単元で関係のある本や、先生が紹介された本など揃えるようにする。 ◆教職員との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・先生の「おすすめの本」などの展示。 						
	工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ◆図書館利用の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションでの説明の後、実際に借りてもらいどこにどんな本があるかをしってもらうようにした。また、質問に来た生徒へもこの時に詳しく説明した。 ◆新聞の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・過去1年分の佐賀新聞は、コーナー横にいつでも使えるようにストックしている。新聞を購読していない家庭も多いため、学校で読めるようにしたい。 ・中学だけでなく、高校総体や高校野球など興味のある部活の記事も読めるようにテーブルに置いている。 						

	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に読んで貰いたい記事などもテーブルに置いている。 ◆イベントなどの展示 <ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事に関する本の紹介展示。 ・読書感想文・画の課題図書、自由図書の紹介。 ・生徒会活動（文化部委員）によるイベントの紹介。 ・SGDGsや○○週間などに関する本の紹介展示。 ◆図書館だよりでの情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・新刊本、芥川賞・本屋大賞など話題になった本などの紹介。 ・図書館でのイベントなどの紹介。 ・ニュースになっていることや、授業で利用できるような本の紹介。 ◆読み聞かせボランティアとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・週に1度来て頂く読み聞かせのボランティア方が読まれた本で、自校にもあるものは最後に紹介していただいている。 ◆授業での活用 <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の「ふるさと学習」では、郷土に関する本だけでなく、リーフレット・パンフレットなど収集して活用してもらえるようにしている。 ・2年生の「職場体験」前の職業調べなどのため、仕事・資格・職業に関する本のコーナーを活用してもらった。 ◆教職員との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生だけでなく、校長先生から事務の先生方全員にご協力頂き「おすすめ本」の紹介とコメントをカードに書いて頂いた。
<p>取り組んだ感想</p>	<p>オリエンテーションで、丁寧に説明しても図書館の使い方をよくわかっていない事が多いため、図書館だよりで度々知らせる事が必要だと感じた。</p> <p>新聞の切り抜きなどの掲示は、自分や友だちが載っているのをよく見ていた。また部活の記事などは、他校の生徒のことも気になるようで切り抜きだけでなく新聞自体も読み活用できるようになっている。</p> <p>文化部委員による「図書館まつり」などのイベントでは、貸出冊数を増やすことになっているし、放送や呼びかけなど生徒同士での紹介は、あまり図書館に来ない生徒が借りに来る手助けにもなっている。また行事の展示などでは、こんな本があったのかと普段自分が借りない分類の本を知る事に繋がった。</p> <p>読み聞かせで紹介された本を、「ありますか？」と尋ねてくる生徒もいて、他の読まれた本も選書の参考になった。</p> <p>授業で丁度やっている単元に関係あることを、図書館だよりで紹介したことも役に立ったようで良かった。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>中学生は読む生徒と読まない生徒の差が大きいため、まず図書館へ足を向けさせるために、「宇宙兄弟」などのマンガやアニメやゲームが原作のライトノベルを活用してきた。初めはそれらの本ばかり読んでいた生徒が、図書館へ来るようになり他の友だちから薦めてもらった本を借りていくようになり、図書館には面白い本からテスト対策の本や検定の問題集もあるのを知って活用していくようになったと思う。</p> <p>今後は、もっと授業で使う資料を集めてコーナーを充実させていきたい。</p>

【 神埼中学校の取り組み 】

◆新聞の活用



切り抜きを見に来ている生徒



- ・生徒が掲載された記事の切り抜きをラミネートして掲示しています。過去の分も取って置き、卒業式にその生徒たちの3年間分をまとめて張りだすのにも活用。中体連などはまた別の掲示板でコーナーを作っている。



読みに来ている

- ・オリンピック・パラリンピック、高校総体や高校野球などを丸テーブルにその期間中置いておくと興味のある生徒が読みに来ていた。卒業した先輩が載っていたり、進学したい学校の部活にも関心があるため部活のグループで見に来ることも多い。



- ・新聞の閲覧台に2紙(佐賀新聞・読売新聞)置き、横に過去1年間分の佐賀新聞をストックして、いつでも活用できるようにしている。閲覧台の下は「子ども佐賀新聞」のストック。新聞のストックは、先生方にも活用頂いている。家庭での新聞購読は年々減少しているため、新聞からどんな情報が得られるのか、活用の仕方などを学べるようにする。

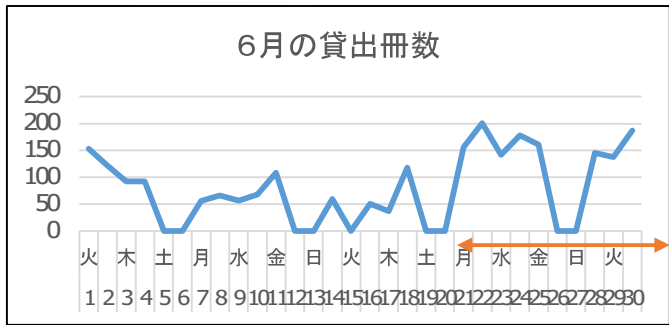
◆イベントなどの展示



- ・愛鳥週間・文豪の忌日(河童忌や桜桃忌など)、防災週間。また本屋大賞、映画やテレビの原作特集などその都度展示。SDGsは学校で毎年取り組むため新刊を入れつつ、今年度中はコーナーを置く。

*** 文化部委員による図書館イベント**

図書館WEEK



・文化部委員による「図書館WEEK」では、クイズ・スタンプラリーなど、企画運営をもらった。景品はしおりをプレゼントにしている。6月21日～7月2日までの開催で、上のグラフのように多数の来館者があった。

他にも文化部委員企画の「クラスのおすすめ本」「POPコンテスト」。また「先生方のおすすめ本」紹介では、担任だけでなく校長先生・事務室・保健室の先生方など全ての教職員に、コメントも書いて頂くなど協力をして頂いた。



読書感想文 コーナー



・夏休み・冬休みの課題図書や感想文に向いているような本は早めに用意し、コーナーを設置。図書館だよりでも紹介した。感想文の書き方・過去の受賞作その他も置いている。自分がやっている部活・習い事などに関する本など資料として置いておく参考にしてくれる。

◆読み聞かせボランティア・他図書館との連携



・週に1度、1学年に入って頂き朝読書の時間に読み聞かせをもらっている。自校にある本は、読み終わってから紹介して頂いたりするので、借りに来る生徒もいる。

・神埼市の図書システムは小中学校及び、公共図書館など他館との相互貸借ができるため、検索して生徒の読みたい本が他館にあれば貸して頂く事ができる。